

# ERE information

Vol. 8 2005年 9月12日発行

発行 / 特定非営利活動法人 日本経済学教育協会・事務局 発行責任者 / 松崎 英樹  
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 3 番21号 / 電話 (03) 3267 - 4819 / e-mail:info@ere.or.jp

## Contents

- ▶ “政治経済研究会”(早稲田大学)が優勝!〔第3回大学対抗戦〕
- ▶ 第8回 E R E ( 経済学検定試験 ) 試験結果
- ▶ 受験者の声
- ▶ 委託会場制度利用のご案内
- ▶ 第4回大学対抗戦について～新たに日本経済新聞社が協賛に
- ▶ 事務局からのご連絡

### ▶ “政治経済研究会”(早稲田大学)が優勝!〔第3回大学対抗戦〕

7月3日(日)、「第8回 E R E / E R E ミクロ・マクロ」において、第3回大学対抗戦が行われました。今回の大学対抗戦は、大阪商業大学・慶應義塾大学・埼玉大学・高崎経済大学・筑波大学・新潟大学・和光大学・早稲田大学の8大学、計14チームの経済学サークル等有志のみなさまにより優勝を目指し競い合われました。

結果、総合得点1,470点、第1回の優勝チームでもある「政治経済研究会」(早稲田大学)のみなさまが見事優勝されました。準優勝は総合点1,330点で「Tsukuba Economics Studies」(筑波大学)、3位は総合点1,300点で「ERE Net レッド」(新潟大学)のみなさまが上位の成績を収めました。

対抗戦の個人部門では、安達剛さん(早稲田大学)、布施翔さん(早稲田大学)、室岡健史さん(筑波大学)の3氏が390点でトップの成績を収めました。

これにより優勝チーム、また個人賞に該当される上位成績を収められたみなさまには、表彰状と記念品(図書券)、ならびに協賛各社より副賞が贈呈されます。

なお、次回(第4回)より「日経賞」が新たに加わります。日経賞は大学対抗戦Sランク取得者に贈られるもので、該当者には日本経済新聞社より、『「日本経済新聞」購読券(6ヶ月分)』と『やさしい日経経済用語辞典』が贈呈されます。

順位	チーム名	ミクロ (平均)	マクロ (平均)	合計得点	平均点
優勝	政治経済研究会(早稲田大学)	165.0点	202.5点	1,470点	367.5点
準優勝	Tsukuba Economics Studies(筑波大学)	165.0点	167.5点	1,330点	332.5点
3位	ERE Net レッド(新潟大学)	167.5点	157.5点	1,300点	325.0点

## ▶ 第 8 回 E R E ( 経済学検定試験 ) 試験結果

2005年7月3日(日) 第8回 E R E を全国の試験会場において同時実施いたしました。今回の応募者は、「 E R E 」において212名(前回比 110名)、「 E R E ミクロ・マクロ」では692名(前回比 115名)となりました。また、全体の平均点につきましては、「 E R E 」が485.9点(前回比43.4点)、「 E R E ミクロ・マクロ」が208.7点(前回比21.3点)と、ともに前回より大幅に増加いたしました。特に「国際経済」は、良好な成績でした。詳細は下記資料1～5のとおりです。

### 《資料1-1》科目別成績

#### 『 E R E 』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学	財政学	金融論	国際経済	統計学	時事経済
配点	250点	250点	100点	100点	100点	100点	100点
平均点	117.0点	122.8点	54.5点	39.7点	64.9点	38.8点	48.2点
(前回)	104.0点	114.0点	43.0点	41.5点	49.5点	44.3点	46.2点
標準偏差	42.66	42.54	21.71	17.09	18.43	15.30	20.49
(前回)	35.58	40.96	21.99	18.58	22.02	19.54	20.09

### 《資料1-2》

#### 『 E R E ミクロ・マクロ 』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学
配点	250点	250点
平均点	104.9点	103.9点
(前回)	92.7点	94.7点
標準偏差	35.40	39.10
(前回)	29.13	34.36

### 《資料2》成績概要

	E R E	E R E ミクロ・マクロ
応募者数	212名	692名
受験者数	155名	523名
平均点	485.9点	208.7点
標準偏差	130.83点	65.39点
最高得点	780点	410点
最低得点	210点	40点

### 《資料3》団体別応募状況

E R E		E R E ミクロ・マクロ	
法政大学	24名	大阪経済大学	77名
久留米大学	14名	福岡カレッジ・オブ・ビジネス	41名
新潟大学	13名	慶應義塾大学	40名
一橋大学	8名	早稲田大学	40名
早稲田大学	8名	立命館大学	39名
慶應義塾大学	7名	酪農学園大学	31名
立命館大学	6名	明海大学	28名
東京大学	5名	新潟大学	23名
		長崎県立大学	17名
		⑩広島修道大学	15名
		⑪釧路公立大学	14名
		⑪創価大学	14名
		⑪北海道大学	14名
		⑭関西学院大学	13名
		⑮群馬大学	11名
		⑮明治大学	11名
		⑰大阪商業大学	10名

《資料4》 E R E 上位成績者

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名(敬称略)	得 点	ランク
1	早稲田大学大学院	経済学研究科	宮 城 恭 平	780	A+
1	青山学院大学	理工学部	石 田 直 樹	780	A+
1	熊本学園大学	経済学部	林 田 明 洋	780	A+
4			村 田 樹 一	760	A+
5	東京大学大学院	公共政策学教育部	石 岡 佑 太	740	A+
5	早稲田大学大学院	経済学研究科	安 達 剛	740	A+
5	立命館大学	経済学部	高 島 啓 太	740	A+
8	東北大学	経済学部	安 藤 理 人	730	A+
8	早稲田大学	政治経済学部	塩 野 剛 志	730	A+
10	神戸大学大学院	経済学研究科	井 田 大 輔	720	A+
10	ゼロワン公務員カレッジ	諫早校	武 市 裕 次	720	A+
12	エルエヌジージャパン	企画業務部	土 田 毅	690	A+
13	埼玉大学	経済学部	瀬 川 文 司 郎	670	A
13	立命館大学	経済学部	堀 口 勇 介	670	A
13	みずほ銀行	福岡支店	小 宮 秀 治	670	A
16	早稲田大学	政治経済学部	柴 田 稔	660	A
17	東京都庁	主税局	長 尾 俊 介	650	A
17	(非 公 開)			650	A
19	東京大学大学院	情報理工学研究科	桜 井 悠 司	640	A
20			清 水 邦 敏	630	A
20	(非 公 開)			630	A
22	東京外国語大学	外国語学部	大 和 芽 萌 里	620	A
22	前川公認会計士事務所所長		前 川 克 博	620	A
22			中 野 康 治	620	A
22	(非 公 開)			620	A
22	関西学院大学大学院	経済学研究科	吉 田 浩 徳	620	A

《資料5》 EREミクロ・マクロ上位成績者

順位	大学・勤務先名	所属	氏名(敬称略)	得点	ランク
1	一橋大学	経済学部	中 对 剛	410	S
2	高崎経済大学	経済学部	冲 島 雅 直	400	S
2	一橋大学	経済学部	(非 公 開)	400	S
2	大阪大学	経済学部	吉 野 功 一	400	S
5	筑波大学	第一学群社会学類	室 岡 健 志	390	S
5	早稲田大学	政治経済学部	布 施 翔	390	S
7	秋田経済法科大学	経済学部	森 聡 彦	380	S
7	早稲田大学	政治経済学部	野 田 尊	380	S
7	(非 公 開)			380	S
7	(非 公 開)			380	S
11	高崎経済大学	経済学部	富 澤 健 二	370	S
11	上智大学	経済学部	熊 谷 章 太 郎	370	S
11	香川大学	経済学部	石 原 徹	370	S
11			阿 部 剛 史	370	S
11	大阪経済大学	人間科学部	大 井 順 平	370	S
16	慶應義塾大学	商学部	村 田 光 司	360	S
16	筑波大学	第一学群社会学類	米 山 裕 之	360	S
16	京都大学	経済学部	四 方 直 樹	360	S
16	京都大学	経済学部	大久保 和 宣	360	S
20	(非 公 開)			350	A+
20	立命館大学	経済学部	堀 智 也	350	A+
20	関西学院大学	社会学部	堀 直 之	350	A+
20			坂 口 絵 美	350	A+
24	明治大学	商学部	大 塚 宏 貴	340	A+
24	埼玉大学	経済学部	大 谷 昌 弘	340	A+
24	慶應義塾大学	経済学部	小 出 慎 平	340	A+
24	早稲田大学	政治経済学部	木 下 祐 輔	340	A+
24	名古屋大学	経済学部	丹 羽 い ず み	340	A+

## ▶ 受験者の声

今回、ランダムに抽出させていただきました受験生の皆様に、【受験動機】をはじめ、いくつかのアンケートへのご協力をお願いしました。そのなかで、代表的な内容を下記のとおりご紹介させていただきます。【受験後の感想】において、「受験勉強をするなかで、自分が今までもっていた経済学の知識がつながり経済学のおもしろさを感じた」との回答が非常に多かったのが印象的です。

アンケートにご協力をいただきましたみなさまには、この場をかりてお礼を申し上げます。また、みなさまからお寄せいただきました回答につきましては、ご意見として今後の参考にさせていただきます。

### 【受験の動機】

- ・大学の講義で紹介があり、なんとなく受験を決意しましたが、試験対策を進めていくなかで、いつしか経済学にはまってしまいました。今では経済学を学ぶうえでのペースメーカーとして受験させていただいています。
- ・来年度の国の受験勉強のスタートとして。
- ・継続的な経済学学習のインセンティブを持たせるため。
- ・経済学の基礎的理解があることの証明。

### 【受験した感想】

- ・オーソドックスな内容でいつも満足しています。これなら知識の偏りも測れますし、信頼性も高いでしょう。
- ・今回、受験を通じて、ばらばらであった知識がつながり、経済学がおもしろいと思うようになりました。

### 【学習方法】

- ・教科書を熟読し問題演習、それからまた教科書、問題演習というかたちをとりました。この形式をとると、同じ問題でも1回目・2回目では見方が異なってきます。それにより自分の成長を確認、またモチベーションを維持することができ、自然に力が身に付きます。
- ・公務員試験用の問題集の活用。
- ・特に検定試験のための対策は行わず、大学の授業内容の復習などを中心に行った。

### 【試験結果の活用】

- ・海外の大学院に出願する際、自分の経済学の理解度を証明する材料にする。
- ・大学3年で就職希望です。今回、幸運にもよい成績がとれたので、就活の際、アピールしたいと思っています。
- ・経済分野唯一の資格試験なので、自分の力を測るためのとてもよい試験であるから、積極的に活用させていただきます。
- ・大学院受験の際に活用させていただく予定です。

## ▶ 委託会場制度利用のご案内

現在、全国に18の会場を設け、「E R E（経済学検定試験）」を実施しておりますが、当該県外に住む受験希望者からみて会場が遠方にあることにより、「希望者がいても、なかなか受験に直結することができない」との声があります。最近では「交通費をかけて県外の受験会場へ足を運ばせるのも学生の大きな負担となるため、委託会場としての実施を検討したい」というお話を頂戴する機会が増えてまいりました。

受験申込者を取りまとめ一括でお申込をいただく場合は「団体受験申込制度」があり、以下の条件を満たせば、委託会場として受験者が所属する学校や会社内に受験会場を設けることができます。すでに15団体の大学に登録・実施をいただいております、少しずつ全国に広がりを見ている制度です。どうぞご利用ください。

### 委託会場とは

委託会場とは、試験会場の設置および実施・運営のための規程等を遵守することを条件に、団体が申請した施設等を協会が試験会場として認めたものをいいます。

### 委託会場設置条件とは

委託会場設置のためには、下記の条件を満たす必要があります。

協会が定めた試験実施日時を厳正に遵守すること。

受験申込者数が2種目の計で10名以上であること。

試験当日の会場責任者として、試験申込責任者もしくはそれに準ずる者を選任すること。

その他、協会で定める規程等を厳正に遵守すること。

### 試験実施までの流れ

試験前に行っていただくこと

到着資材の確認

試験問題等重要資材の保管

試験当日

運営方法を記した『試験実施規定』にもとづき、厳正に試験を監督・実施。

試験終了後

遅滞のないよう答案等試験資材を検定試験運営センター宛に返送。

本会場受験者と同じの手続により採点し、成績結果を通知します。

### 実施手数料のお支払

委託会場としての登録・設置を事前にいただき、当日の試験運営を行っていただく場合は、団体取りまとめ手数料10%に加え、委託実施手数料として受験料の15%（合計で25%）をお支払いします。お支払方法は、受験料より差引入金していただくことで行います（申込者が10名に満たない場合は、手数料のお支払いはありませんが、委託会場として実施をいただくことはできません）。

委託会場制度をご利用いただく場合は、事前にご連絡ください。団体申込用FD願書のご請求時に所定の用紙「委託会場設置届出書」をお送りします。詳細につきましては、検定試験運営センターまでお問合せください。

### 検定試験運営センター

〒162 - 8464 東京都新宿区市谷本村町3 - 21

Tel : 03 - 3267 - 4821 Fax : 03 - 3267 - 4999

## ▶ 第4回大学対抗戦について～新たに日本経済新聞社が協賛に

第4回大学対抗戦の実施に向けて、より広く全国大学サークルの参加を募ります。

### 《参加資格》

原則、大学・大学院（専門学校可）に所属する学生を主体とするゼミ・サークル等の団体で、1チームのエントリーは5名以上9名以内とします。

### 《対戦方法》

『EREミクロ・マクロ』（2科目）の成績で判定します。『ERE』（7科目）で受験・参加する場合は、7科目内の「ミクロ経済学・マクロ経済学」の2科目の得点を抽出して判定します。判定方法は、5名から9名の成績のうち、上位4名までの総合点で判定を行います。

### 《表彰等》

#### 【優勝チーム】

賞状と記念品（全員に図書券）を授与します。また、ダイヤモンド賞（副賞）として、ダイヤモンド社より『週刊ダイヤモンド』が優勝チーム全員に半年間贈呈されます。

#### 【準優勝チーム】

経済セミナー賞として日本評論社より、『経済セミナー』が準優勝チーム全員に半年間贈呈されます。

#### 【個人賞】

『ERE』『EREミクロ・マクロ』のSランク取得者には、日経賞として、日本経済新聞社より『日本経済新聞購読券（6ヶ月分）』と『やさしい日経経済用語辞典』が贈呈されます（第4回より）。

また、個人成績上位10名までの方に、ファイナンシャル・プランナーズ賞として、NPO法人日本ファイナンシャル・プランナーズ協会より『FPジャーナル』が半年間贈呈されます。さらに上位5名までの方には、あわせて金融知力賞としてNPO法人金融知力普及協会より、初級通信講座『グランド・ステージ』の受講票が贈呈されます。

### 第4回 大学対抗戦

第9回 ERE/EREミクロ・マクロ 2005年12月4日(日)において実施

受付期間 2005年9月19日(月)～10月21日(金) <消印有効>

詳しくは協会のホームページをご覧ください。

<http://www.ere.or.jp/taikousen/taikousen.pdf>

## 第3回大学対抗戦

### 優 勝 「政治経済攻究会」(早稲田大学)

前回は大差をつけられ惨敗したので、今回はリベンジをしようと燃えていました。そして無事、目的を果たすことができ安堵しております。チームとしての取り組みは「遅刻しないように」と(苦笑)。ただ、「過去問はかならず一度解くように」と助言はしておきました。かなり慣れの方は大きいです。

対抗戦は日本の学術サークルのレベル上昇に貢献していると思います。明確な目標があった方が努力しやすいですから。今後参加団体が増え、より切磋琢磨できることを期待しております。

(早稲田大学政治経済学部経済学科4年 柴田 稔さん)



## ▶事務局からのご連絡

受験希望者の方々へ

受付期間終了後のお申込は一切できませんので、お申込時は受付期間にご注意ください。

受験生の方々へ

最近、受験生より、受験票を紛失した旨の連絡が目立ちます。受験票は試験にあたって持込品の1つであると同時に、会場等、受験に際しての重要な事項が記載されております。お手元に届きましたら確認のうえ当日まで大切に保管していただくようお願いします。

第9回E R E（経済学検定試験）実施要綱

### 『E R E』実施要綱

実施回	第 9 回
試験日	2005年12月4日（日）
試験時間	午後1時00分～午後4時00分（180分）
受付期間	2005年9月19日（月）～2005年10月21日（金） 消印有効
受験料	5,250円（税込）
出題科目	ミクロ経済学 / マクロ経済学 / 財政学 / 金融論 / 国際経済 / 統計学 / 時事経済
出題形式	4 答択一式 / 100問, 1 問10点, 1,000点満点
持込品	受験票, 筆記用具（HBの鉛筆, プラスチック製消ゴム）, 電卓（ただし, 金融計算電卓, 関数・メモ機能付は不可）, 顔写真付身分証明証（学生証・運転免許証・パスポート等）

### 『E R Eミクロ・マクロ』実施要綱

実施回	第 9 回
試験日	2005年12月4日（日）
試験時間	午後1時00分～午後2時30分（90分）
受付期間	2005年9月19日（月）～2005年10月21日（金） 消印有効
出題科目	ミクロ経済学 / マクロ経済学（注）
受験料	3,150円（税込）
出題形式	4 答択一式 / 50問, 1 問10点, 500点満点
持込品	受験票, 筆記用具（HBの鉛筆, プラスチック製消ゴム）, 電卓（ただし, 金融計算電卓, 関数・メモ機能付は不可）, 顔写真付身分証明証（学生証・運転免許証・パスポート等）

（注）『E R E』のミクロ経済学・マクロ経済学と同一問題です。